



みんなの憩いの場 ゆうわ子ども食堂

全国的にも広がりを見せている「子ども食堂」。市内でも企画スタッフ6人、調理スタッフ11人の有志による「ゆうわ子ども食堂実行委員会」が主催し、毎月第4(出)に行われています。家族や友達と楽しくお昼ご飯を食べたり、遊んだり、宿題をしたりと、子どもたちの憩いの場となっている「ゆうわ子ども食堂」を紹介します。

地域に根付いた食堂に

平成28年8月から行われている「ゆうわ子ども食堂」は、立ち上げ当初、貧困や孤食で悩んでいる子どもたちを対象としていましたが、今では地域のコミュニケーションの場として、だれでも気軽に参加できます。実際、子ども食堂には地域の高齢の方や親子たちが触れ合う姿があります。「毎月この日を楽しみにしています」「おいしい料理をみんなで食べて楽しい」という声も聞こえ、笑いが絶えません。



▲企画スタッフの皆さん
看板は毎回スタッフが
手作りしています

心を通わせ合う交流の場

実行委員長の齋さんは「市民のために何か貢献したい、地域で交流できる場を作りたいという思いから、仲間同士で協力して立ち上げました。地域内でも顔を合わせる機会が少なくなってきた昨今、心を通わせる交流が必要だと感じています」と話されました。

皆さんも憩いの場として利用してみませんか。

ゆうわ子ども食堂

- と き 毎月第4(出)11:00~13:00
- と ころ ゆうわ館(新浜町1-6-17)
- 参加費 無料(大人300円)
- 対 象 子どもと保護者、
じいちゃん、ばあちゃん
- 定 員 15人

問 ゆうわ館 ☎361-1401
(月)木(金)9:00~17:00



シリーズ 塩竈の魅力再発見④

「歴史と流行が混在する本町」

「創業100年を超えるお店をはじめ、ここまで古くて歴史あるお店が多く集まっているところは、なかなかないですね」と話したのは、観光振興ビジョン推進メンバーの渡邊敬久さん。

渡邊さんは、創業50年を超える果実店の2代目。おいしい果実を活かし、新たにジェラート店を始めました。本町には、カフェやチョコレート工房など、新しいお店も並び、若い人の注目を集めています。

市外からのお客さんが多く「次はどこに行ったらいいですか」という質問がよくあるそうです。渡邊さんは「こういう歴史あるお店があるよと紹介できるし、逆に紹介してもらうこともありますね」と教えてくれました。

歴史と流行が混在することは、塩竈全体を盛り上げられる魅力のひとつです。



渡邊さんは「もっと新しいお店が増えてほしいです。本町だけでなく塩竈全体と一緒に盛り上げていきたいですね」と話してくれました。

皆さんも、お店巡りをしながら、歴史と流行が混在する本町の魅力を見つけてみませんか。皆さんが発見した塩竈の魅力をメールにて教えてください。



観光振興ビジョン
推進メンバー
渡邊敬久さん

問 観光交流課人・まち交流係 ☎364-1165
Eメール kankou@city.shiogama.miyagi.jp

